第146号
2019.8.1
（令和元年）

ひこね 市議会だより

3列目　安澤　勝　長﨑　任男　馬場　和子　伊藤　容子　黒澤　茂樹　小川　隆史
2列目　赤井　康彦　矢吹　安子　小川　吉則　森田　充　林　利幸　森野　克彦　野村　博雄　和田　一繁
1列目　谷口　典隆　杉原　祥浩　中野　正剛　上杉　正敏　北川　元気　堀口　達也　獅山　向洋　角井　英明　中川　睦子　辻　真理子

第21期の議員

令和元年5月臨時会（5月20日）
令和元年6月定例会（6月3日～6月26日）

●5月臨時会で決まったこと…… 2～3
●6月定例会で決まったこと…… 4～9
●個人質問 …… 10～20
●お知らせ …… 21～24

インターネット中継やFacebookは 彦根市議会 で検索

― 決定しました ―

5月臨時会で議長、副議長、監査委員を選任しました。
また、各委員会委員の構成は以下のとおりです。

元号は令和へ。新時代の新しい議会として、闊達な議論を重ねながら議会の権能を発揮し、彦根市民のため邁進いたします。

議　　長
馬場　和子議員

議長を補佐し、多くの課題を抱える市政運営がより円滑に進むよう尽力して参ります。

副 議 長
安澤　勝議員

◇委員会の構成◇

（令和元年5月20日現在）

企画総務消防常任委員会	◎谷口　典隆 ○中野　正剛	黒澤　茂樹 北川　元気	林　利幸 杉原　祥浩	森田　充 獅山　向洋
福祉病院教育常任委員会	◎野村　博雄 ○赤井　康彦	小川　吉則 辻　真理子	堀口　達也 角井　英明	馬場　和子 伊藤　容子
市民産業建設常任委員会	◎矢吹　安子 ○和田　一繁	上杉　正敏 長﨑　任男	安澤　勝 中川　睦子	小川　隆史 森野　克彦
予算常任委員会	◎上杉　正敏 ○北川　元気 森野　克彦	谷口　典隆 森田　充 小川　隆史	野村　博雄 辻　真理子 長﨑　任男	角井　英明 獅山　向洋 赤井　康彦
議会改革特別委員会	◎和田　一繁 ○中野　正剛	小川　隆史 北川　元気	野村　博雄 小川　吉則	森田　充 角井　英明
議会運営委員会	◎谷口　典隆 ○杉原　祥浩	中川　睦子 赤井　康彦	野村　博雄 和田　一繁	上杉　正敏 北川　元気
議場開放促進委員会	◎赤井　康彦 ○杉原　祥浩	堀口　達也 長﨑　任男	上杉　正敏 角井　英明	伊藤　容子 小川　隆史
広報委員会	◎和田　一繁 ○北川　元気	林　利幸 馬場　和子	中野　正剛 小川　吉則	森野　克彦 安澤　勝
広聴委員会	◎野村　博雄 ○辻　真理子	獅山　向洋 黒澤　茂樹	中川　睦子 森田　充	谷口　典隆 矢吹　安子
議会情報公開調整委員会	◎杉原　祥浩 ○矢吹　安子	長﨑　任男 野村　博雄	安澤　勝	

※　◎＝委員長、○＝副委員長

5月臨時会の結果

5月20日の5月臨時会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算が1件、その他議案5件を原案のとおり可決・承認・同意しました。

新しい彦根市監査委員を選任

新しい彦根市監査委員を長崎任男議員とする議案に対し、全会一致で同意を与えました。

議案第70号に対して、獅山議員から個人質疑がありました。

5月臨時会　議案の審議結果

項目	番号	件　　名
議案	65	令和元年度（2019年度）彦根市一般会計補正予算（第1号）
	66	専決処分につき承認を求めることについて（彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例）
	68	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて
	69	彦根市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて

■議会に提出された報告

項目	番号	件　　名
報告	5	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	6	和解および損害賠償の額の決定について

■賛否が分かれた議案等

（○：賛成　●：反対　―：議長）

項目	番号	件　　名	結果	辻 真理子	中川 睦子	角井 英明	獅山 向洋	堀口 達也	北川 元気	上杉 正敏	中野 正剛	杉原 祥浩	谷口 典隆	和田 一繁	野村 博雄	森野 克彦	林 利幸	森田 充	小川 吉則	矢吹 安子	赤井 康彦	小川 隆史	黒澤 茂樹	伊藤 容子	馬場 和子	長崎 任男	安澤 勝
議案	67	彦根市市税条例の一部を改正する条例案	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案	70	彦根市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○

6月定例会の結果

6月26日に閉会した6月定例会の結果についてお知らせします。

一般会計予算など予算関係3件、条例関係3件、その他議案1件を審査し、原案のとおり可決しました。

また、請願1件を不採択とし、決議案1件を否決しました。

令和元年度一般会計予算445億5,000万円を可決

河瀬小学校校舎増築事業

3億1,399万5千円

学区内児童数の増加に伴い、令和2年度から教室の不足が生じるため、普通教室棟校舎を増築するために必要な経費です。

▲河瀬小学校

▲稲枝駅西口

JR稲枝駅周辺整備事業

5,348万3千円

JR稲枝駅の西口アクセス道路および西口駅前広場の整備を行い、稲枝駅の利便性の向上を図るために必要な経費です。

彦根城世界遺産登録にかかる推薦書作成事業

186万8千円

彦根城の世界遺産登録の実現に向けて、推薦書原案の作成を県市連携で行うために必要な経費です。

市民体育センター整備事業

29億2,243万円

スポーツと文化がつながる新しい市民の交流拠点として、（仮称）彦根市新市民体育センターの整備を行うために必要な経費です。

令和元年度から令和3年度までの債務負担行為額（建設工事）は41億4,600万円です。

※債務負担行為とは、複数年度にわたる契約を結ぶ場合など、あらかじめ後年度の支出について限度額と期間を定めるものです。（地方自治法第214条）

（内訳）

- センター建設工事費　27億6,400万円
- 敷地造成工事費　1億1,200万円
- 委託料　2,762万8千円
- 公有財産購入費　1,379万円
- その他事務経費　501万2千円

（仮称）彦根市新市民体育センター
イメージをYoutubeでも公開中
http://www.city.hikone.shiga.jp/0000012905.html

▲完成イメージパース

▲第５分団車庫（詰所）

消防団分団車庫（詰所）整備事業

5,390万円

建替え整備が必要な分団車庫（詰所）について、整備等を行うために必要な経費です。

- 第5分団車庫（詰所）工事費　5,200万円
- 第4分団車庫（詰所）設計等委託費　190万円

シティプロモーション推進事業

265万4千円

平成30年度に策定した「彦根市シティプロモーション戦略」に沿って、官民協働で持続可能なシティプロモーション活動を推進するために必要な経費です。

（主な事業）

- 市民の共感づくり事業委託料　50万円
- 市民の魅力発信促進業務委託料　71万円
- 彦根城眺遠的大会開催補助金　60万円

予算常任委員会

議案第71号令和元年度（2019年度）彦根市一般会計予算を可決

予算常任委員会は、6月14日、17日、18日、26日に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】
・議案第71号、議案第76号、議案第77号

【主な内容】
○議案第71号に対する質疑
Q　平成31年度当初予算が否決されたことへの見解は。
A　執行部からの説明不足ではあったが、否決されると思わなかった。
Q　ふるさと納税が増額すると見込む理由は。
A　PRの強化や返礼品を50品目増やした。
Q　プレミアム付商品券発行事業のPRは。
A　市民に誤解のないように広報やチラシで伝える。
Q　新市民体育センター整備事業のスケジュールは。
A　現在、実施設計が出来上がり精査しているところ。
○議案第71号に対する討論
反対　平成31年度当初予算とあまり変わっていない。修正された部分について目立った部分は復活したが、教育予算は平成30年度に比べ6割減となった。市長は、否決された理由を理解していない。今回も枠配分方式をベースに予算を組んでいる。国スポ重視の姿勢で市民の予算を削っている。これらの理由により反対する。
賛成　平成31年度当初予算は失政を棚上げしたまま提案され、その予算の否決は多くの市民に迷惑をかけた。まだ十分とは言えないが、市民のために早急に予算を成立させることが大事であるため賛成する。

【結果】
・議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

子どもの医療費の完全無料化を中学校卒業まで拡大することを求める請願を不採択

市民産業建設常任委員会は、6月19日に委員会を開催し、1件の請願について慎重に審査しました。

【審査】
・請願第1号
子どもの医療費の完全無料化を中学校卒業まで拡大することを求める請願

【主な内容】
○請願第1号に対する討論
反対　子どもの医療費は、昨年4月に小学校3年生までの通院費を含む医療費が無料化されたばかり。小学校4年生から中学校3年生まで拡大実施すると、約1億3600万円が必要と見込まれる。現在の財政状況も考え、医療現場との十分な協議を含め、慎重かつ段階的に制度の拡充が必要であることから反対する。

【結果】
・請願第1号は不採択

企画総務消防常任委員会

「本庁舎耐震化整備事業」建築工事が再々入札に ～令和2年度末の事業完了に遅れも～

企画総務消防常任委員会は、6月20日に委員会を開催し、3件の議案などについて慎重に審査しました。

【審査】
・議案第72号、議案第73号、議案第74号

【主な内容】
○議案第72号に対する質疑
Q 非課税措置の対象となる単身児童扶養者には、変更内容を早期に周知すべきでは。
A 条例改正に伴う適用は、令和3年度分の個人住民税からとなるが、十分に周知に努める。
○議案第74号に対する質疑
Q 10月からの幼児教育・保育無償化に伴い、無認可保育所へも、火災報知設備の設置を推奨するべきでは。
A 施設の延床面積により、特定小規模施設用自動火災報知設備の設置を特例として認める場合もあることから、今後検討していく。

【結果】
・議案はいずれも原案のとおり可決

【所管事務調査】
・本庁舎耐震化整備事業について
Q 建築工事が再々入札となった経緯と今後の見通しは。
A 二回目の入札では、結果的に指名した15者すべてが辞退された。再々入札では、現地見学や同工事の入札に参加を希望した8者を指名したことから、応札には期待している。本契約の議決時期によっては、令和2年度末の事業完了がずれ込むこともあり得る。

議会改革特別委員会

今期議会改革特別委員会協議項目の整理を行った

6月3日に開催した委員会では、次の3つの議題について議論した。

①議会改革特別委員会協議項目について、災害発生時の議員行動マニュアルの策定、大学との連携、手話通訳等の導入、議会ICT化の取組、政務活動費の手引きの見直しの項目を優先的に取り組んでいく事を確認した。

②滋賀大学経済学部との連携について、毎年8月1日で自動更新とする協定になっており、この8月1日以降も連携を継続することについて確認した。また、2大学との連携については議長と大学との協議の上、検討していく事を併せて確認した。

③視察対応プロジェクトチームについて協議し、視察対応については、これまでと同様に、委員会内に視察対応プロジェクトチームを立ち上げ、議会改革特別委員会の委員が担当することとした。今期は初めて対応する議員が多いため、プロジェクトチームメンバーとともに、経験豊富な議員も同席し対応することにした。

6月定例会　議案の審議結果

会期：6月3日～26日

■全員賛成の議案等

項目	番号	件　　名
議案	72	彦根市市税条例等の一部を改正する条例案
	73	彦根市行政不服審査法に関する手数料条例の一部を改正する条例案
	74	彦根市火災予防条例の一部を改正する条例案
	75	彦根市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
	76	令和元年度(2019年度)彦根市一般会計補正予算(第2号)
	77	令和元年度(2019年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

■議会に提出された報告

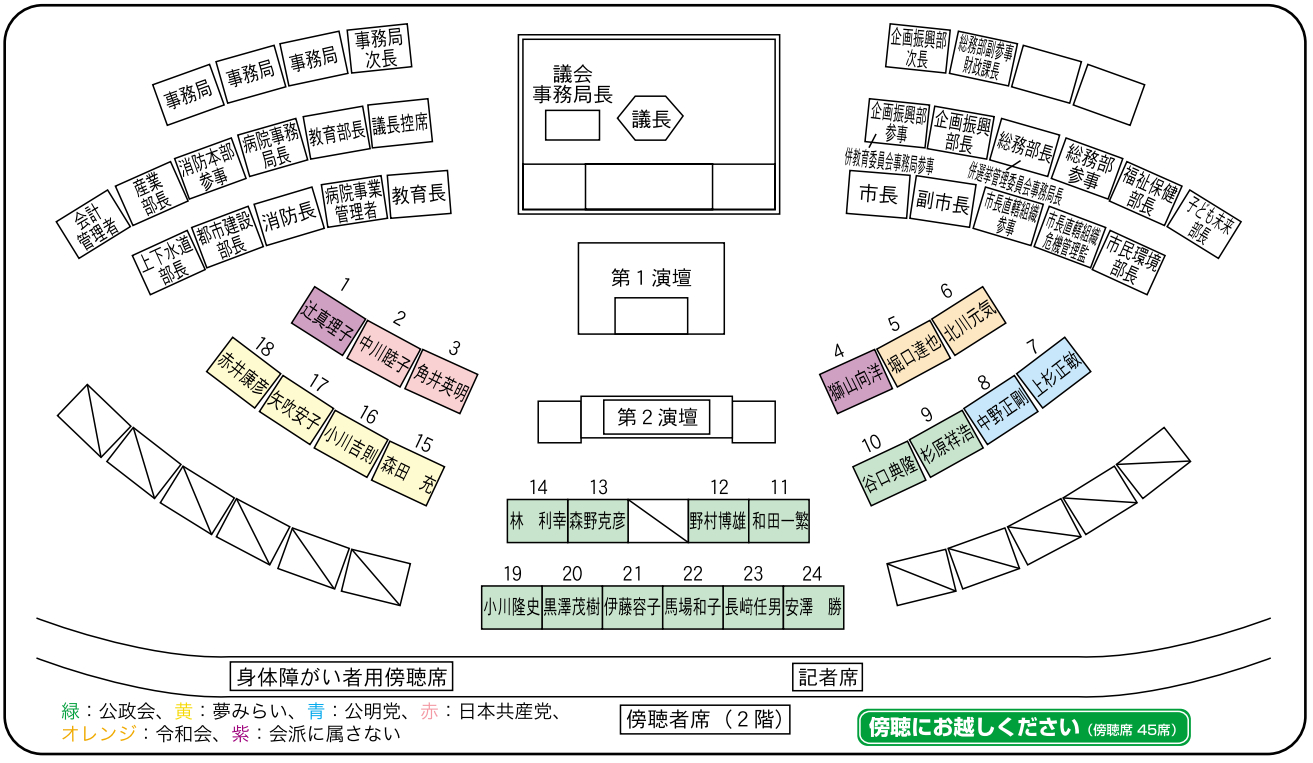
項目	番号	件　　名
報告	7	令和元年度(2019年度)一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について
	8	第32期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について
	9	第23期株式会社夢京橋の事業計画について
	10	第17期株式会社四番町スクエアの事業計画について
	11	平成30年度(2018年度)彦根市繰越明許費繰越計画書について
	12	平成30年度(2018年度)彦根市水道事業会計予算繰越しについて

■賛否が分かれた議案等

(○：賛成　●：反対　―：議長)

項目	番号	件　　名	結果	辻真理子	中川睦子	角井英明	獅山向洋	堀口達也	北川元気	上杉正敏	中野正剛	杉原祥浩	谷口典隆	和田一繁	野村博雄	森野克彦	林利幸	森田充	小川吉則	矢吹安子	赤井康彦	小川隆史	黒澤茂樹	伊藤容子	馬場和子	長﨑任男	安澤勝
議案	71	令和元年度(2019年度)彦根市一般会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
請願	1	子どもの医療費の完全無料化を中学校卒業まで拡大することを求める請願	不採択	○	○	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	―	●	●
決議案	2	大久保貴彦根市長に対する辞職勧告決議案	否決	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	―	●	●

令和元年６月以降の議場レイアウト



緑：公政会、黄：夢みらい、青：公明党、赤：日本共産党、
オレンジ：令和会、紫：会派に属さない

大久保貴彦根市長に対する辞職勧告決議案を反対多数で否決

決議案の趣旨

大久保貴彦根市長に対する辞職勧告決議案について、暫定予算の影響で、執行できていたはずの事業がストップし、市政はさらに混乱し、花火大会の中断やひこにゃんの活動費問題では、市外、県外の方々からも批判や心配をいただく事態まで発展した。また長期間工事が中断している本庁舎耐震化整備事業においても相次いで入札不調という結果で、今後の予定や予算など詳細を市民にお知らせすることができない状態である。市民の信頼を得られる彦根市政を取り戻すことはこれまでの実績からは期待できないため、辞職勧告決議案を上程する。

反対討論

今辞職勧告に賛同するよりも、本庁舎耐震化整備事業における今後の入札状況を含め、しっかり大久保市政を見定めるべきである。

採決の結果

反対多数で否決。

議会用語解説！
～市長の責任を問う決議の種類～

種　類	内　　容	可決必要数	拘束力
辞職勧告決議	辞職を求める	単純過半数	原則なし
不信任決議	決議されると、市長は辞職か議会解散かを選べる（10日以内）。解散した場合、選挙で当選した議員によって再度可決されると市長は辞職。	４分の３以上（再可決は単純過半数）	あり

市政について質す!

6月定例会個人質問

21人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

各議員が決める

質問の内容は、議案とは関係なく議員個人が決めます。

制限時間は30分

議員1人あたりの発言時間は30分です。一問一答方式で行い、答弁は市長や各部長等が行います。

動画で見る

市議会のホームページから、個人質問等の様子をライブ・録画中継で見ることができます。

森田　充議員
企画総務消防常任委員会

Q 市長の人口減少に対する考えは

A まちひとしごと創生総合戦略を策定し推進中

Q まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンでは2060年人口10万人の維持、出生数1000人の維持、転入超過100人／年間とされているが、この目標に対する市長の中長期の人口減少に対する政策の見解は。

A 中長期の人口減少対策については、彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し取組を進めている。第1期策定後の人口を見ると平成27年度が11万2660人であったのが、平成30年度では11万3073人となり413人の増となった。年間出生数、年間転入超過人数については目標が達成できた年度と未達成の年度があり、第2期の策定にあたっては第1期の評価を踏まえ、引き続き中長期的な対策を進める。

▶彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略

彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略
総合戦略

平成30年(2018年)3月改訂版
滋賀県彦根市

その他の質問

- 市庁舎の完成時期と仮庁舎返却時期は
- なぎなた競技への市としての支援内容は
- 健康寿命の伸長について

小川　隆史議員
市民産業建設常任委員会

Q 市民体育センター等の整備について

A できる限り整備費縮減に努める

Q 新市民体育センターの整備費の縮減への取組は。

A 整備費については、建物の機能やコンセプトを損なうことなく、床面積の縮小や内外装の見直しを行い、縮減に努めてきており、今後もさらなる仕様書等の精査を行う。

Q 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会後の新市民体育センターの活用は。

A 地域活性化の拠点となるよう、より多くのスポーツイベント等の招致・開催を図る。

Q 誘致のため、職員等も新施設のPRに努めるべきでは。

A 職員はもちろん、市長自らトップセールスに努める。

Q 福満公園の整備については。

A 一部の区域をグラウンドゴルフ等ができる芝の広場に拡張し、複数の利用者が互いに安全、安心に利用できる施設として再整備を図る。

▲新市民体育センター建設予定地と福満公園

その他の質問

・彦根市でのAIの活用は

角井　英明議員
福祉病院教育常任委員会

Q 国体優先の予算編成になっているが見解は

A 全ての事業を聖域なく見直した

Q 国体優先の予算になっているが見解を。

A 改めて全ての事業を、聖域なく見直した。

Q 新たな予算はなにを中心に事業見直しをしたのか。

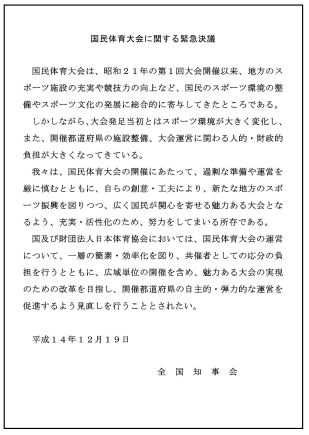
A 道路や公園等のインフラ施設の維持管理経費や、活力ある地域産業の振興施策、教育政策等の見直しを行った。

Q 国体開催に伴う全国知事会の緊急決議の目的は。

A 国体開催に係る開催都道府県の施設整備や大会運営に関わる人的・財政的負担を軽減し自らの創意・工夫により魅力ある大会を開くことである。

Q 彦根市はこの決議に逆行しているのではないか。

A 国体を契機にまちづくりを担う施設となるよう設計し、コスト縮減に努めていることから、市の施設整備計画は決議に逆行しないと考える。



国民体育大会に関する緊急決議

国民体育大会は、昭和２１年の第１回大会開催以来、地方のスポーツ施設の充実や競技力の向上など、国民のスポーツ環境の整備やスポーツ文化の発展に総合的に寄与してきたところである。

しかしながら、大会発足当初とはスポーツ環境が大きく変化し、また、開催都道府県の施設整備、大会運営に関わる人的・財政的負担が大きくなってきている。

我々は、国民体育大会の開催にあたって、過剰な準備や運営を厳に慎むとともに、自らの創意・工夫により、新たな地方のスポーツ振興を図りつつ、広く国民が関心を寄せる魅力ある大会となるよう、充実・活性化のため、努力をしてまいる所存である。

国及び財団法人日本体育協会においては、国民体育大会の運営について、一層の簡素・効率化を図り、共催者としての応分の負担を行うとともに、広域単位の開催を含め、魅力ある大会の実現のための改革を目指し、開催都道府県の自主的・弾力的な運営を促進するよう見直しを行うこととされたい。

平成１４年１２月１９日

全国知事会

▶国民体育大会に関する緊急決議

その他の質問

・リフォーム補助事業は全面復活されたのか

・こどもたちが安心して学べる権利の保障をすべきでは

辻　真理子議員
福祉病院教育常任委員会

Q 本庁舎耐震化整備事業の今後は

A 指名競争入札を行う

Q 大手ゼネコン15者が応札すると考えたのか。

A 大手15者ならば応札の見込みがあると考えた。

Q 本庁舎耐震化整備事業の今後の対応策は。

A 格付区分「A」の88者から大手15者を除く73者のうち、現地見学会参加者と入札参加希望者を対象に、積算期間を十分確保の上、指名競争入札を行う。

Q 債務負担行為の金額は変更するのか。

A 建築工事と外構工事を合わせて発注するが、債務負担行為の範囲内で行いたい。

Q 仮庁舎費用の見込みは。

A 賃借期間を令和3年3月まで22カ月延長する必要があり、計46カ月で約4・15億円になると見込まれる。

▲彦根市役所本庁舎

その他の質問

- 中期財政計画について
- 彦根市のふるさと納税について

森野　克彦議員
市民産業建設常任委員会

Q 不審者に対する子どもの安全対策について

A 国、県の動向を踏まえ適切な対応を検討する

Q 昼休みや学童保育の時間帯にグラウンドで遊ぶ子どもの不審者に対する安全確保は。

A 昼休み等の休み時間には、できるだけ多くの職員で見守りや巡回を行っている。放課後児童クラブの外遊びでは、侵入が考えられる場所を確認し、立ち位置にも配慮して、児童の側で、遊びを見守りながら、不審者の侵入に対応できるようにしている。

Q 川崎市の小学生殺傷事件を受け検討された対策は。

A 危機管理マニュアルに基づき、学校の安全管理と児童生徒等の登下校中の安全指導を徹底して行うよう指導している。新たな対策については、文部科学省行政担当者連絡協議会で説明された学校安全に関する内容等をもとに、国、県の動向を踏まえ、対応を検討していく。

▲子どもの安全を見守る地域の方々

その他の質問

- 子どもの安全対策について
- 免許証の自主返納状況と返納後の課題は
- 野田山町の下水道整備の予定について

和田　一繁議員
市民産業建設常任委員会

Q 立花船町線街路事業の整備完了予定は

A 令和４年度末の完了を予定している

Q 都市計画道路立花船町線街路事業の整備完了予定は。

A 令和４年度末の完了を予定している。

Q 事業の進捗状況は。

A 用地取得は現時点で総地権者数77件の内74件、取得面積で96％の取得を終えている。歩道整備および電線類地中化については、全区間両側歩道で合計９２０ｍのうち４６０ｍの整備を終え、整備率は50％である。

Q 移転用地内の建物の現状は。

A 建物の一部が隣接する建物に接触しており、全体的に損耗している状況を確認している。

Q 法的措置の考えは。

A 原則任意交渉による合意のうえ取得を考えている。令和４年度完了予定時期を見極め、土地収用法に基づく法的措置も視野に入れている。

▶都市計画道路立花船町線

その他の質問

- スクールガードについて
- フィルムコミッション事業について

林　利幸議員
企画総務消防常任委員会

Q 非農用地利活用に向けた今後の対応は

A 利活用に向け協議会を立ち上げ対応する

Q 曽根沼地区非農用地利活用に向けた今後の対応は。

A 今般地元の方で利活用計画の方向性が定まり、計画の一部である「農山漁村再生可能エネルギー法」に基づく太陽光発電事業の実施に向け、５月７日付で非農用地管理組合より周辺自治会や農業関係者から事業実施の同意を取り付ける事を前提とし市による協議会立ち上げの要請を受けたところ。今後、本市・地域住民・設備整備者・その他関係者等による協議会を立ち上げ、設備整備者からの提案に基づき市が国の基本方針に基づく基本計画を作成・公表のうえ審査し、認定する予定である。周辺環境との調和と農林漁業の健全な発展に資する取組であるため、十分に協議し進めていきたい。

▲曽根沼地区非農用地の現状

その他の質問

- ＪＲ稲枝駅周辺整備事業について
- 稲枝駅西側地区の開発について
- 石寺稲里線道路改良事業について

伊藤　容子議員
福祉病院教育常任委員会

Q 厳しい財政状況で今後市民生活への影響は

A 毎年20～30億削減しあらゆる視点で歳出抑制

Q 財政の硬直化について、過去5年の経常収支比率は。

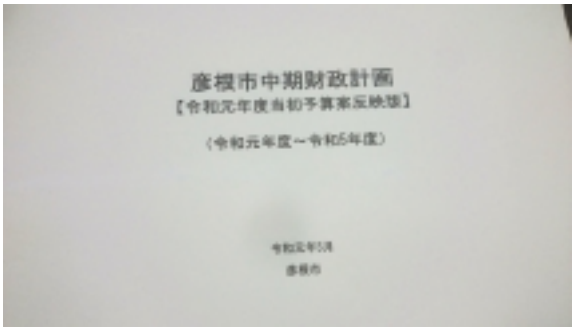
A 平成26年度89・8％、平成27年度91・9％、平成28年度95・1％、平成29年度94・9％、平成30年度は94・4％と見込んでいる。

Q この数値の意味する事は。

A 経常収支比率は、財政構造の弾力性を示し、低いほど財政運営に弾力性があり、政策的にも使えるお金が多くなる。本市は過去5カ年、毎年度約90％から95％と高い水準で推移し、厳しい財政状況にある。

Q 今後市民生活への影響は。

A 今回の中期財政計画では、令和2年度以降、毎年20～30億円の「その他」経費の削減に努める。他にも、人件費の時間外手当の削減、扶助費の市単独事業の見直し、投資的事業は緊急性の低い事業の精査など、あらゆる視点で歳出抑制を図る。



▲令和元年度中期財政計画

その他の質問

- 公共施設等総合管理計画について
- 清掃センターの転落事故について
- 不便な地域での愛のりタクシー新設は

矢吹　安子議員
市民産業建設常任委員会

Q コンセッション方式への本市の考えは

A コンセッション方式導入の検討予定はなし

Q 水道事業の現状は。

A 施設や管路の更新には多額の費用を要するため、第3期中期経営計画を策定し、順次進めている。大規模地震に対する対策も早急に進めなければならないなどの課題がある。

Q 水道事業は健全運営か。

A 経常収支比率は100％を超え、料金回収率は113％で健全性を維持している。

Q コンセッション方式とは。また、本市の考えは。

A 水道などの料金徴収を伴う公共施設などについて所有権を公的機関に残したまま、特別目的会社として設立される民間事業者に運営権を一定期間渡し、料金収入等によって施設の運営を行う方式。この方式の導入が、すなわち民営化ということではない。また、直ちにコンセッション方式導入の検討予定はない。

▲大藪浄水場

その他の質問

- 不登校生への取組と進路について
- 引きこもりの実態と訪問支援の充実強化の取組について

野村　博雄議員
福祉病院教育常任委員会

Q 河瀬駅の荒神山等への玄関口としての整備は

A 案内看板やめぐりんこの充実等一層努力する

Q 河瀬駅の荒神山等への玄関口としての整備推進は。

A 河瀬駅の交通結節点機能を強化するよう再編された内容を反映した路線バスや愛のりタクシーの路線図とともに、荒神山古墳の案内看板を6月中に設置していく。

Q レンタサイクル「めぐりんこ」の活用は。

A めぐりんこの貸出拠点の一つとして平成28年に設置した河瀬駅前サイクルステーションは、本市中南部地域の観光資源の活用の観点から重要な拠点であり、今後、案内看板や表示物の設置の充実や、観光客への積極的な情報発信・PRに一層努めるとともに、湖東地域を始めとする周辺地域とも連携したサイクリングツアーの開催等、観光コンテンツの造成についても引き続き取組を進める。

▲荒神山古墳の資料展示等が行われるようになった自由通路

その他の質問

- 市民に寄り添った市立病院について
- 再資源化を推進するごみ処理について
- 河瀬小学校の増改築工事について

獅山　向洋議員
企画総務消防常任委員会

Q 令和元年度予算案で復活した事業・金額は

A 18事業、1億1216万円である

Q 本年2月に提案した本年度予算案は昨年度予算に比べて87事業・11億7千万円の事業削減・縮小を行った。これを否決されて本年6月に提案した本年度予算案ではどれだけ復活し増額したのか。

A 復活した事業は18事業、金額は1億1216万円である。

Q それでは昨年度予算と比較して結果的に見直した事業数および予算額はどれだけになるのか。

A 87事業・約10億6305万円である。

▶令和元年度（2019年度）彦根市一般会計予算書及び説明書

その他の質問

- 金亀公園整備の見直し案について
- 戒告処分と人事について
- ふるさと納税の返礼品について

小川　吉則議員
福祉病院教育常任委員会

Q 福祉職員の処遇改善は

A 「介護職員処遇改善加算」にて対応

Q 介護職員の人材不足は、全国的な問題である。人材不足の一因に、職員の待遇の問題があるが対策は。

A 国の制度として、介護サービスを提供した際に事業所に支払われる介護報酬において、各事業所の体制に応じて一定額を加算する「介護職員処遇改善加算」の制度がある。平成21年度以降これまでに、月額５７０００円の改善効果があったとされている。

Q 国の加算制度ではケアワーカーだけが対象である。全職種・全職員を対象とした彦根市独自の処遇改善手当の支給は考えられないか。

A 国においては、10月に処遇改善を進めるとされ、加算対象は柔軟な運用を認めるとされている。職員の確保・定着については、魅力ある職場づくりの取組も重要である。

▲市内の特別養護老人ホーム

その他の質問

・児童虐待防止について、児童相談所および警察との連携は
・保育所待機児童の解消について

赤井　康彦議員
福祉病院教育常任委員会

Q 財政難から市議会も行政も給与削減をすべき

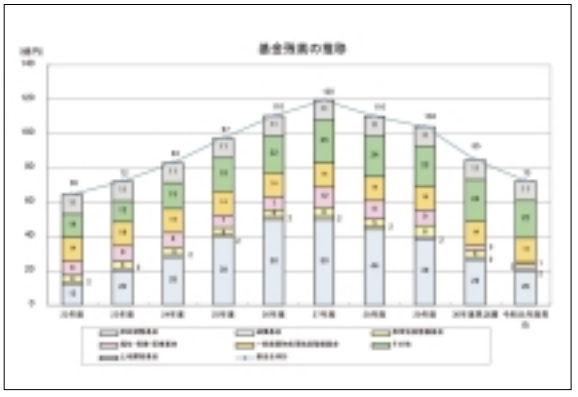
A 検討しないといけないが究極の手段

Q 市民に負担をしいる事となった今回の当初予算のように次年度はさらに厳しい予算となることが予想される。市民に負担をお願いするだけでなく、市議会や行政職員の給与削減をすることによってこの財政難という難局をみんなで乗り切る気構えを持つ事や姿勢を見せる事が必要かと思う。市議会の判断は正副議長に任せるが市職員の給与削減をする考えはないのか。

A 市職員の給与削減は、現時点では考えていない。次年度予算を編成していく上で総合的に判断し検討しないといけない。

Q 市長の思いは。

A 財政の厳しい中、働き方改革を進め、市民サービスの向上に努めていく。市職員の給与削減は、究極の手段と考える。



▲基金残高の推移

その他の質問

・次年度も花火大会予算を計上する予定か
・市議会議員選挙の違反について
・幼児教育・保育の無償化について

谷口　典隆議員
企画総務消防常任委員会

Q 国スポに伴う松原町周辺道路の安全確保策を

A 緊急点検の対策内容を反映し整備していく

Q 国スポ主会場整備に伴う松原町周辺道路の安全確保策は。

A 城北小学校前の都市計画道路では、車道に加えて幅員3メートルの歩道と幅員2メートルの自転車通行帯を両側に備えた構造を計画している。

Q 通学路として多くの児童や生徒が利用する県道松原橋交差点の一日あたりの交通量は。

A 同交差点を通過する車両のうち最も台数が多い北進方向の平日12時間交通量は1万6475台で、近辺の交差点の中では交通量が最も多い。

Q 松原橋交差点は交通量が多い上に形状も変則的で歩道幅も狭い。安全対策を求める。

A 先般の大津市の事故を受け県では同交差点も含めた緊急点検を実施している。今後、県とも連携を図りながら機会あるごとに対応策を県とも協議していきたいと考える。

▲大型車をはじめ多くの車両が通行する松原橋交差点

その他の質問

・松原町の彦根キャッスルハイツ前交差点に信号機の設置を
・見直しによる金亀公園再整備の尾末町からの意見への対応は

杉原　祥浩議員
企画総務消防常任委員会

Q 自治会清掃の予算推移は

A 前年度は1279万円、今年度は702万円

Q 自治会清掃において、昨年度からの予算推移は。

A 平成30年度の事業に係る当初予算は、土のう袋の購入や車両配車委託料等として約1279万円、令和元年度は回収委託料と土のう袋、新たに草回収袋の購入を加え702万円を計上している。

Q 新規事業であるまち・ひと・しごと「ひこねで暮らそう」リフォーム事業の、申込目標は。

A 移住世帯が10件、新婚世帯が3件、子育て世帯が66件、三世代同居世帯が51件と想定。

Q 従来の「住もうよ！ひこね」リフォーム補助事業を無くす理由は。

A 定住人口の増加を図ることに焦点をあて、消費税増税への影響も配慮した新制度に変更することとした。

▲収集業務に向かう彦根市パッカー車

その他の質問

・投票率の低い投票所は
・期日前投票の成果は
・期日前投票所を投票所に加えることは可能か

北川　元気議員
企画総務消防常任委員会

Q 当初予算否決による大久保市長の責任は

A 市長として力不足を感じている

Q 大久保市長は、当初予算が否決となった理由をどのように考えているか。

A 平成31年度当初予算案は、各事業の必要性を見直し、事業の廃止や縮小など、抜本的な見直しにより財政調整基金にできる限り頼らない健全な財政運営を維持できるよう予算枠配分方式を採用した予算編成を行なったが、先の2月議会では、議員に対する説明が尽くせず、十分に理解を得ることができなかったことが当初予算の否決につながった。

Q 予算否決の市長責任は。

A 本市の財政状況が大変厳しいと認識し、市長としての力不足を感じている。これまで以上に市政運営に全力で取り組み、市民の信頼を取り戻して、各種事業を1つ1つ丁寧にやり遂げ、市長としての政治的責任を果たしていきたい。

▲議場内の彦根市長の標柱

その他の質問
- 本庁舎耐震化整備事業について
- 新教育長の方針について

堀口　達也議員
福祉病院教育常任委員会

Q 彦根市のインターネット活用について

A ひこにゃんをSNSやYoutubeと連動

Q 5G時代の到来に向け、彦根市としてのインターネット活用・情報発信の今後の方針は。

A HPやYoutube等を活用した情報発信を充実させ5Gなど新しいIoT技術を利用した、市民と市の双方向の情報共有が重要になるため情報収集を行う。

Q 湖南市ではVtuberを活用し市外の皆さんにはニュースでの話題性や、市民の皆さんにはキャラクターの親しみやすさといった、お金をかけずに市の魅力発信に成功している事例があるが、彦根市も柔軟な発想を取り入れるべきでは。

A ひこにゃんを各種SNSや市公式Youtubeチャンネルと連動し、情報発信力を高める。

©2019　Konan City
▲湖南市公式Vtuber【Minamiちゃん】

その他の質問
- 選挙関連資料の簡素化について
- タブレットの運用状況と効果について
- 定住人口と交流人口について

中川　睦子議員
市民産業建設常任委員会

Q 学童保育の現場から人手不足等の不安の声は

A 委託事業者からは聞いていない

Q 今年度、放課後児童クラブを民間委託した理由は。

A 年々、入所希望児童が増え、必要指導員数の確保が困難な状況にあったため、継続的・安定的に運営するための事業者を民間を含め広く公募した。

Q 前年度の委託料は。

A 12クラブで約1億7千万円。

Q 今年度の委託料は。

A 17クラブで約3億5千万円。

Q 昨年度と今年度、委託料の支払い方法の違いは。

A 昨年度までは実績に応じて支払う契約内容であり、今年度は児童数の増減等に関わらず契約金額を支払う契約内容。

Q 求人募集が毎週出ているが、指導員は足りているのか。

A 今後夏休みを迎えるため、募集をしていると聞いている。

Q 現場から予算削減や人手不足等不安の声を聞いているか。

A 事業者からは聞いていない。

▲市内の放課後児童クラブの外観

その他の質問

- 彦根市の公共交通の充実を
- 国民の権利である、市民の選挙投票の権利は守られているのか

中野　正剛議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根市立図書館に無料Wi-Fiの設置を

A 県内で設置した図書館の状況を確認する

Q 彦根市立図書館利用者数減少の原因は。

A インターネットやスマートフォンなどのIT機器の普及によることが、主な原因と考えている。

Q 図書館に無料Wi-Fiを設置するデメリットは。

A 館内の閲覧席数が少ないことや、研究席も限られたスペースしかない中で、ゲーム利用など本来の目的と異なる利用があった場合、閲覧席を占有され、多くの方に利用していただくことが難しくなる。

Q 無料Wi-Fiの設置で図書館利用者の増加が図れるのでは。

A その利便性については理解するが、図書館利用者がどの程度増えるかは、現時点では把握できない。無料Wi-Fiを設置した県立図書館や守山市立図書館の入館者数等の変化の状況を確認していきたい。

▲彦根市立図書館インターネット端末

その他の質問

- 彦根市の文化財の防災対策は万全か
- 乳児用液体ミルクの家庭内備蓄の啓発を

上杉　正敏議員
市民産業建設常任委員会

Q 小・中学校における異常高温対策は

A エアコン設備と水分補給で対応している

Q 彦根市内の小・中学校における異常高温対策にウォータークーラー設置推進をと考えるが見解は。

A 平成29年度までに特別教室1室を除き市内の全ての小・中学校においてエアコン整備を終えている。また、熱中症対策としてウォーターサーバーを設置しているため、現時点ではウォータークーラーの設置は考えていないが、他市の事例などを研究・情報収集は行っていく。

Q 避難所となる全施設に空調設備の検討を求めるが見解は。

A 彦根市が指定緊急避難場所として指定している施設の内、小学校から大学までの体育館や武道場を除き、空調設備が未設置の建物については、施設管理者に空調設備の設置をできる限り働きかけていく。

▶小学校へのウォータークーラーの設置の一例

その他の質問

- 高齢者による交通事故対策について
- 小・中学生の交通事故対策について
- 幼・保園児の交通事故対策について

黒澤　茂樹議員
企画総務消防常任委員会

Q 稲枝駅西口へのアクセス道路の整備は

A 優先度の高い道路として早期完了を目指す

Q 稲枝駅西口へのアクセス道路整備のスケジュールは。

A 稲枝駅西口へのアクセス道路となる芹橋彦富線、稲部本庄線、稲枝西口停車場線はいずれも早期完了を目指し進めていく。このうち駅へのアクセスとして特に優先度の高い主要地方道大津能登川長浜線の金田町交差点からの稲部本庄線、芹橋彦富線を経由し、稲枝西口停車場線を通り、稲枝駅西口までの区間については、先行し令和5年度の供用開始を目指している。

稲部本庄線は既に全ての用地取得済みであり、芹橋彦富線は、今年度新たな法線での用地測量を実施し、次年度以降は用地取得に着手する予定。稲枝西口停車場線は、西口駅前広場から85メートルの区間を第1工区とし、今年度の完成を目指している。

▲稲枝駅西口へのアクセス道路の整備予定

その他の質問

- 教育予算の充実について
- 滋賀大学データサイエンス学部との連携について

ひこね市議会だよりは「ひこまち」や「マチイロ」に掲載されています

市議会の情報を各アプリでご覧いただくことができます。

▲ひこまちアプリのアイコン画像

◀ひこまち

▲マチイロアプリのアイコン画像

◀マチイロ

ダウンロードはこちらから！

アップルストア・グーグルプレイから無料でダウンロード可能です。
※通信料は利用者の負担です。

彦根市への行政視察受入状況について

彦根市議会では、全国各地の議会から行政視察を受け入れています。平成31年4月から令和元年7月までの状況についてお知らせします。

視察日	議　会　名	視　　察　　項　　目
7. 2	栃木県さくら市議会	議会改革の取組について
7.11	香川県坂出市議会	議会改革の取組について 議会報告会
7.23	東京都西東京市議会	議会改革 議会開放推進プロジェクトチーム
7.24	神奈川県大和市議会	子ども若者プラン 子どもの貧困対策計画
7.30	広島県尾道市議会	議会開放推進プロジェクトチーム 議員間討議 議会報告会

政務活動費

政務活動費とは？

議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に交付されているお金です。本市では、各会派（所属議員が１人の場合も含む）に対して、所属議員1人当たり年24万円を交付しています。

交付の対象は？

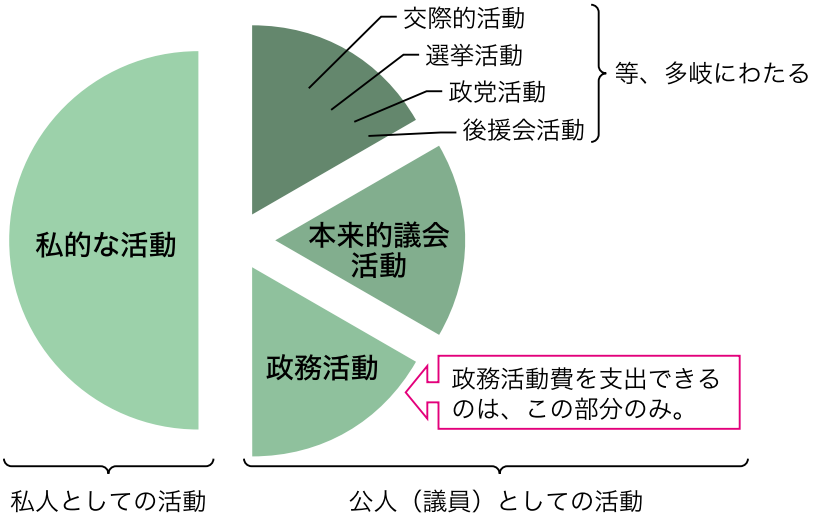
本市では「会派が研究会・研修会を開催するために必要な経費」、「会派の行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費」等、使途基準を条例（彦根市議会政務活動費の交付に関する条例）で定めており、基準に合致しない等の理由で政務活動費が余った場合は、返還することになっています。

透明性の高い運用をするために

本市では政務活動費の使途基準を条例で定め明確化するとともに、領収書を添えた収支報告書の提出を義務付けています。また、平成28年度分からホームページで領収書の公開も開始しました。

【参考】　～政務活動の概念図～

※本図はあくまで政務活動の概念を表したもので、政務活動費の支出割合を示したものではありません。



会派別一覧表（平成30年度交付分　収支報告書）（単位：円）

交付会派名	人数	平成30年度交付決定額	支出額	うち会派自己資金	返還額	執行率（%）
公政会	9名	2,160,000	1,609,879	0	550,121	74.53
夢みらい	6名	1,440,000	1,356,716	0	83,284	94.22
公明党彦根市議団	2名	480,000	343,512	0	136,488	71.57
日本共産党彦根市会議員団	2名	480,000	488,381	8,381	0	101.75
無所属	3名	720,000	600,618	0	119,382	83.42
薫風	1名	240,000	551,278	311,278	0	229.70
谷口のりたか	1名	240,000	248,779	8,779	0	103.66

※収支内訳や領収書、その他、政務活動費にかかる詳細説明については、「彦根市議会ホームページ」でご覧いただけます。

お知らせ

第21期議員の連絡先です。彦根市ＨＰにも掲載しております。

企総消：企画総務消防常任委員会、福病教：福祉病院教育常任委員会、市産建：市民産業建設常任委員会
予算：予算常任委員会、議運：議会運営委員会、議改：議会改革特別委員会

	氏　名	郵便番号	住　所	電話/FAX（公開）	会派名	委　員　会
1	つじ　まりこ 辻　真理子	522−0033	芹川町1473番地4	22-6040/26-2238	無会派	福病教・予算
2	なかがわ　むつこ 中川　睦子	522−0047	日夏町2700番地23	28-3076/同左	日本共産党 彦根市会議員団	市産建・議運
3	かくい　ひであき 角井　英明	521−1101	石寺町1250番地	43-4709/同左	日本共産党 彦根市会議員団	福病教・予算・議改
4	ししやま　こうよう 獅山　向洋	522−0068	城町一丁目7番1号	22-0675/22-0606	無会派	企総消・予算
5	ほりぐち　たつや 堀口　達也	521−1111	稲里町1685番地	43-2959/なし	令和会	福病教
6	きたがわ　げんき 北川　元気	522−0042	戸賀町197番地	29-0957/同左	令和会	企総消・予算・議運・議改
7	うえすぎ　まさとし 上杉　正敏	522−0057	八坂町2790番地2	28-3045/同左	公明党 彦根市議団	市産建・予算・議運
8	なかの　まさたけ 中野　正剛	522−0025	野田山町900番地44	24-8696/同左	公明党 彦根市議団	企総消・議改
9	すぎはら　よしひろ 杉原　祥浩	522−0201	高宮町1973番地	22-8666/30-0690	公政会	企総消・議運
10	たにぐち　のりたか 谷口　典隆	522−0066	栄町二丁目4番38号	21-5555/21-5550	公政会	企総消・予算・議運
11	わだ　かずしげ 和田　一繁	522−0083	河原３丁目1番19号	22-0325/23-7563	公政会	市産建・議運・議改
12	のむら　ひろお 野村　博雄	522−0223	川瀬馬場町639番地	28-1143/同左	公政会	福病教・予算・議運・議改
13	もりの　かつひこ 森野　克彦	522−0007	古沢町480番地5	21-1111/21-1110	公政会	市産建・予算
14	はやし　としゆき 林　利幸	521−1101	石寺町217番地	43-4353/43-6258	公政会	企総消
15	もりた　みつる 森田　充	522−0047	日夏町2838番地12	28-0608/同左	夢みらい	企総消・予算・議改
16	おがわ　よしのり 小川　吉則	522−0024	正法寺町470番地7	24-5711/なし	夢みらい	福病教・議改
17	やぶき　やすこ 矢吹　安子	522−0053	大藪町163番地46	23-2517/同左	夢みらい	市産建
18	あかい　やすひこ 赤井　康彦	522−0043	小泉町425番地64	30-0585/同左	夢みらい	福病教・予算・議運
19	おがわ　たかし 小川　隆史	522−0043	小泉町812番地	27-3376/同左	公政会	市産建・予算・議改
20	くろさわ　しげき 黒澤　茂樹	521−1132	下稲葉町431番地	43-2494/同左	公政会	企総消
21	いとう　ようこ 伊藤　容子	522−0053	大藪町188番地27	20-7430/同左	公政会	福病教
22	ばば　かずこ 馬場　和子	522−0041	平田町309番地15	23-2340/同左	公政会	福病教
23	ながさき　たかお 長﨑　任男	529−1155	賀田山町884番地	28-1499/同左	公政会	市産建・予算
24	やすざわ　まさる 安澤　勝	522−0004	鳥居本町1278番地4	23-4577/23-2978	公政会	市産建

議員表彰

全国市議会議長会会長から、矢吹議員が20年表彰を受けられました。

11月16日(土)に子ども議会を開催します！ぜひ、傍聴にお越しください。

時間：13：00～16：00（予定）
場所：ひこね市文化プラザ メッセホール（予定）

「子ども議会」は、彦根市、彦根市教育委員会、彦根市議会の三者共催で開催しています。

これは、彦根市の未来を担う小学校の児童が、議会制民主主義を体験的に理解するとともに、政治への関心を深め、また、彦根市の将来について考え、議会で質問や提案をすることにより、ESDやシティズンシップ教育を推進し、児童に社会参画への態度や意欲を培うことを目的としています。

さらに、保護者をはじめ市民の皆さんに児童の議場での活動を傍聴してもらうことを通じて、市議会や行政の取組をより身近なものと感じてもらうことも目的としています。

▲前回の子ども議員

編集後記

彦根市議会では今春の統一地方選挙にて、市民の皆さまの負託を受け新人10人を含む24人が第21期議員として当選しました。

平成31年度は、当初予算案を否決し暫定予算の中で始まりましたことから、市民の皆様に大変ご心配やご迷惑をおかけする事態となりました。二元代表制の一翼を担う市議会としてもこの異常事態を一刻も早く打開すべく、6月定例会では一般会計予算を慎重かつ迅速に審査し可決したところです。

今後も、よりよい彦根市をめざし市政の方向性を慎重にチェックしていかねばなりません。そのためにも議員一人ひとりが研鑽を重ね、市民の皆さまの声に真摯に耳を傾けながら力を尽くす所存です。

今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

彦根市議会議長　馬場和子

本会議・委員会の日程（予定）

月　日	内　　容	時　刻
9月 2日（月）	開　　会	9：00
9月 9日（月）	個人質問 代表質問	9：00
9月10日（火）		
9月11日（水）		
9月12日（木）		
9月17日（火）	予算常任委員会	9：30
9月18日（水）	企画総務消防常任委員会	9：30
9月19日（木）	福祉病院教育常任委員会	9：30
9月20日（金）	市民産業建設常任委員会	9：30
9月25日（水）	本会議	9：00
10月 2日（水）	決算特別委員会	9：30
10月 3日（木）		
10月 4日（金）		
10月10日（木）	閉　　会	9：00

議会の傍聴は事前申込み不要です。お気軽にお越しください。

ひこね市議会だより第146号
令和元年8月1日発行

編集：広報委員会　　発行：彦根市議会　彦根市元町４番２号
電話：0749-30-6130（ダイヤルイン）　電話&FAX：0749-22-0906

※この広報紙は52,000部作成し、１部当たりの印刷単価は17円（１円未満切捨）です。